

追加型投信 / 内外 / 株式

## グローバル・ヘルスケア&amp;バイオ・ファンド（為替ヘッジあり）

〈愛称：健次（ヘッジあり）〉

## 決算・分配金のお知らせ

ファンド情報提供資料  
データ基準日：2026年2月27日

平素は「グローバル・ヘルスケア&バイオ・ファンド（為替ヘッジあり）〈愛称：健次（ヘッジあり）〉」をご愛顧賜り、厚く御礼申し上げます。

当ファンドは、2026年2月27日に決算を迎え、当期の分配金（1万口当たり、税引前）を下記の通りと致しました。次ページ以降では、当期の運用状況に加え、ヘルスケア業界のこれまでの振り返りとこれからの見通しなどを記載していますので、あわせてご覧ください。

## 決算情報

（2026年2月27日）

## 分配金

（1万口当たり、税引前）

0円

## 基準価額

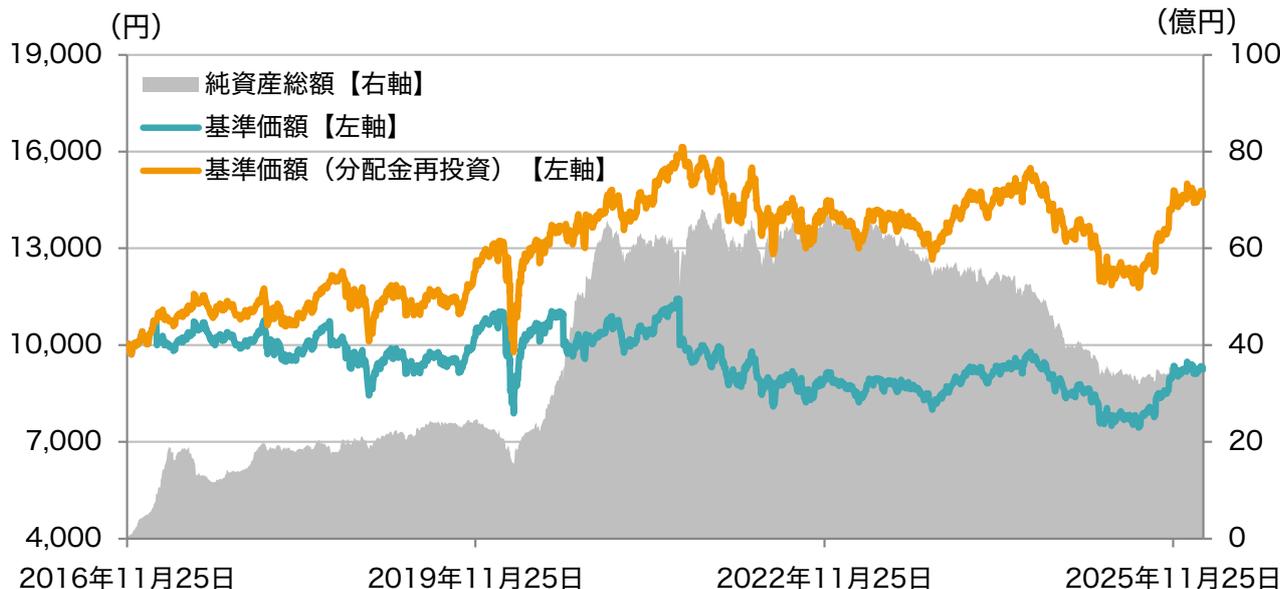
（1万口当たり、分配落ち後）

9,252円

※ 当ファンドは、原則として、決算日の基準価額水準が当初元本額10,000円（1万口当たり）を超えている場合には、当該超えている部分について、分配対象額の範囲内で、全額分配を行います。（資金動向や市況動向等により変更する場合があります。）

## 設定来の基準価額等の推移

（期間）2016年11月25日～2026年2月27日、日次



- ・基準価額、基準価額（分配金再投資）は、1万口当たりであり、運用管理費用（信託報酬）控除後の値です。
- ・信託報酬率は、後記の「ファンドの費用」に記載しています。
- ・基準価額（分配金再投資）は、分配金（税引前）を再投資したものとして計算しています。

## 【分配金実績（1万口当たり、税引前）】

第15期 （2024年2月）	第16期 （2024年8月）	第17期 （2025年2月）	第18期 （2025年8月）	第19期 （2026年2月）	設定来累計
0円	0円	0円	0円	0円	4,784円

・運用状況によっては、分配金額が変わる場合、あるいは分配金が支払われない場合があります。

・本資料は、当ファンドの実質的な運用を行うウエリントン・マネージメント・カンパニー・エルエルピー（以下、「ウエリントン社」ということがあります。）のコメントを基に三菱UFJアセットマネジメントが作成しています。本資料において「運用チーム」は、ウエリントン社の運用チームをさします。・上記は、過去の実績・状況または作成時点での見通し・分析であり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。また、税金・手数料等を考慮していません。

## 当期の市場環境 (2025年8月28日～2026年1月30日時点)

### 先進国株式

当期の先進国株式は、2026年1月30日時点で前期末に比べて上昇しました。

期初は米利下げ期待の高まりやAI・半導体分野の設備投資拡大を背景にハイテク株を中心に株価が上昇しました。10月には好調な企業決算や米中貿易摩擦の緩和期待が株式市場を支え、日本でも高市新政権の財政拡張的な姿勢が株価を押し上げました。その後、ハイテク株の高値警戒感から株価は一時調整しましたが、米景気減速を示す景気指標を受けて追加利下げ観測が強まり、株価は反発しました。AIの巨額投資の持続性を巡る疑念からハイテク株を中心に軟調となる局面もありましたが、根強いAI需要や資源高が下支えし年末にかけて回復しました。2026年初は米景気指標や地政学リスクへの警戒感が残る一方、世界的な景気持ち直しや堅調な企業業績が市場を支え、株価は堅調に推移しました。

### 先進国ヘルスケア株式

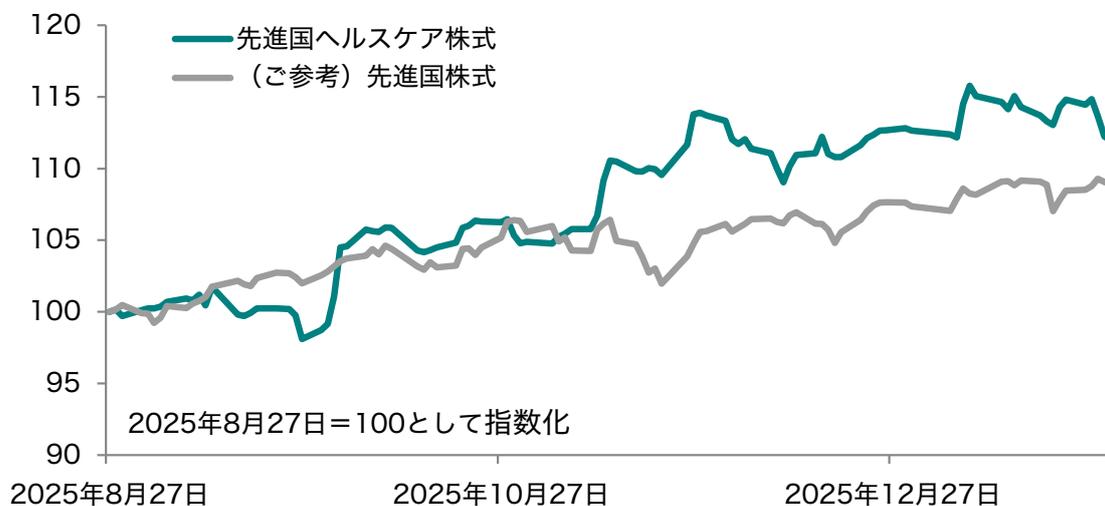
当期の先進国ヘルスケア株式は、下記の理由などにより、2026年1月30日時点で前期末に比べて上昇しました。

先進国株式が米利下げ期待やAI投資拡大期待で上昇する中、先進国ヘルスケア株式では、米政府と医薬品大手の薬価引き下げ合意や3年間の関税免除決定により政策面の不透明感が後退し、医薬品株がヘルスケア株式全体のパフォーマンスをけん引しました。加えて、市場予想を上回る好決算と業績予想の上方修正を発表した大手医薬品企業を中心に株価が上昇しました。

ハイテク株が一時調整した局面では、相対的に出遅れていたヘルスケア株式の割安感が意識され、一部の資金がヘルスケア株式へシフトする循環物色の動きがみられました。こうした要因から、先進国ヘルスケア株式は先進国株式を相対的に上回る展開となりました。

#### 先進国ヘルスケア株式の推移

(期間) 2025年8月27日～2026年1月30日、日次



2025年8月27日=100として指数化

(出所)ウエリントン社のコメント、Bloombergのデータを基に三菱UFJアセットマネジメント作成  
 ・上記は、指数(現地通貨ベース、配当込み)を使用しています。指数は、先進国株式:MSCIワールドインデックス、先進国ヘルスケア株式:MSCIワールドヘルスケアインデックスです。・上記は、当ファンドの基準価額の算出基準日に対応する現地時間に基づき記載しています。・上記は、過去の実績・状況または作成時点での見通し・分析であり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。

## 当期の市場環境と当ファンドの運用状況（2025年8月28日～2026年1月30日時点）

先進国ヘルスケア株式をサブセクター別にみると、医薬品、ライフサイエンス・ツール/サービスなどが上昇した一方で、ヘルスケア・テクノロジーなどが下落しました。

- **医薬品**：市場予想を上回る好決算と業績予想の上方修正を発表した大手医薬品企業を中心に株価が上昇しました。
- **ライフサイエンス・ツール/サービス**：計測機器事業の好業績と、バイオ医薬品関連の需要に対する経営陣の楽観的な見方が好感されたライフサイエンス・ツール/サービス企業の株価が上昇しました。
- **ヘルスケア・テクノロジー**：市場予想を上回る業績と業績予想の上方修正にも関わらず、CRM（顧客管理システム）事業の競争優位性や成長性を懸念された企業の株価が下落しました。

## 当ファンドの運用状況

当期の当ファンドは、2026年1月30日時点で前期末に比べて上昇しました。

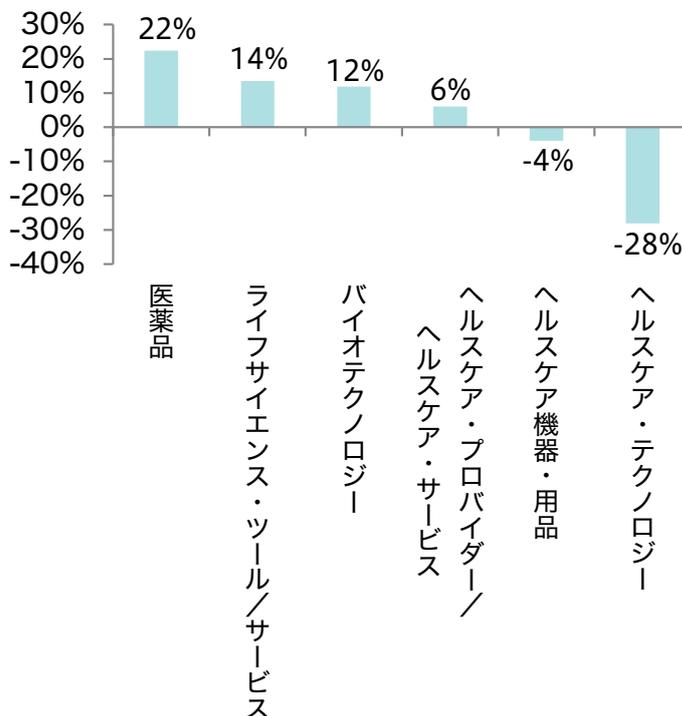
当ファンドのパフォーマンス寄与度をヘルスケア株式のサブセクター別にみると、医薬品、バイオテクノロジー、ヘルスケア・プロバイダー/ヘルスケア・サービスなどがプラスに影響しました。

個別銘柄でみると、肥満症治療薬市場の成長を背景とした強い需要の期待から最高値を更新した「イーライ・リリー」などが基準価額にプラスに寄与しました。

一方で、バリュエーションの修正や買収に伴う1株当たり利益の希薄化や債務負担増への懸念から株価が軟調となった「ボストン・サイエンティフィック」などが基準価額にマイナスに影響しました。

### 先進国ヘルスケア株式のサブセクター別騰落率

（期間）2025年8月27日～2026年1月30日、日次



### 当ファンドのパフォーマンス推移

（期間）2025年8月27日～2026年1月30日、日次



※次ページに、当ファンドの基準価額に影響した主な銘柄を紹介しています。

（出所）ウエリントン社のコメント、Bloombergのデータを基に三菱UFJアセットマネジメント作成

・上記は、指数（MSCI ワールドヘルスケアインデックス、現地通貨ベース、配当込み）のサブセクターを使用しています。  
 ・基準価額（分配金再投資）は、運用管理費用（信託報酬）控除後の値です。・信託報酬率は、後記の「ファンドの費用」に記載しています。  
 ・基準価額（分配金再投資）は、分配金（税引前）を再投資したものと計算しています。・業種は、GICS（世界産業分類基準）の産業分類で分類しています。・上記は、個別銘柄の推奨を目的とするものではなく、当ファンドにおいて上記の銘柄を組み入れることを示唆・保証するものではありません。・上記は、過去の実績・状況または作成時点での見通し・分析であり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。また、税金・手数料等を考慮していません。

【本資料で使用している指数について】本資料中の指数等の知的所有権、その他一切の権利はその発行者および許諾者に帰属します。また、発行者および許諾者が指数等の正確性、完全性を保証するものではありません。各指数等に関する免責事項等については、委託会社のホームページ（<https://www.am.mufg.jp/other/disclaimer.html>）をあわせてご確認ください。

【GICS（世界産業分類基準）について】Global Industry Classification Standard（“GICS”）は、MSCI Inc.とS&P（Standard & Poor's）が開発した業種分類です。GICSに関する知的財産所有権はMSCI Inc.およびS&Pに帰属します。

## 当ファンドの基準価額に影響した主な銘柄 (2025年8月28日～2026年1月30日時点)

## ■ 基準価額にプラスに寄与

## イーライ・リリー

(医薬品)

**銘柄概要** 米国の大手医薬品企業

**株価上昇の背景** 市場予想を上回る好決算に加え、米トランプ政権との薬価引き下げ・輸入医薬品に対する関税免除の合意を受けて、政策面の不確実性が後退し、将来の収益機会が評価されました。肥満症治療薬市場の成長を背景に同社製品に対する需要が一段と強まり、新薬の研究開発への期待感も株価上昇につながりました。

**運用チームの視点** 肥満症治療薬市場の拡大を背景に、新薬開発能力だけでなく製造・供給面の実行力を備える同社を評価し、保有を継続しています。



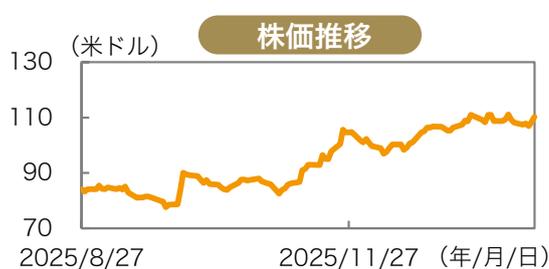
## メルク

(医薬品)

**銘柄概要** 米国の医薬品企業

**株価上昇の背景** 高コレステロール血症患者に対する同社の新薬の臨床試験が良好な結果となり、長期的な成長期待が高まりました。また、シダラ・セラピューティクス社の買収合意により、感染症領域のパイプライン（新薬候補）拡充も投資家心理を後押ししました。

**運用チームの視点** がん領域を中心とした強固な研究開発基盤と主力製品の収益力を背景に、パイプラインの拡充を進める同社を評価し、保有を継続しています。

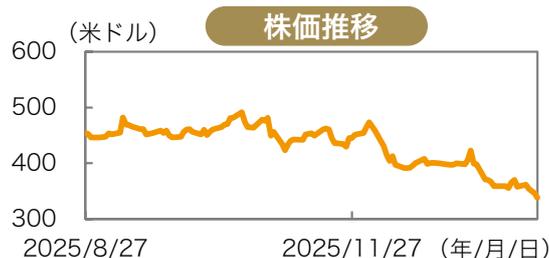


## ■ 基準価額にマイナスに影響

アルナイラム・ファーマシューティカルズ  
(バイオテクノロジー)**銘柄概要** 米国のバイオ医薬品企業

**株価下落の背景** 第4四半期決算で主力製品「アムヴトラ」の売上が市場予想を下回り、失望売りが膨らみました。強気な来期ガイダンスや中期戦略にも関わらず、短期的な業績減速懸念が優勢となりました。さらに、2025年7月末に発表された好決算をうけて株価が急上昇した反動で、割高なバリュエーションを意識した利益確定売りも下押し要因となりました。

**運用チームの視点** 疾病に関連するたんぱく質が作られるのを抑制するRNAi治療薬の開発に世界で初めて成功し、強みとしています。競合が限られる希少疾患領域で差別化を実現している点を評価し、保有を継続しています。

ボストン・サイエンティフィック  
(ヘルスケア機器・用品)**銘柄概要** 米国の大手医療機器メーカー

**株価下落の背景** 新製品や買収進展などの好材料により株価は上昇しましたが、割高感が強まったことで利益確定売りに押される展開となりました。好決算への期待などから株価は一時的に持ち直したものの、ペナンプラ社の買収合意に伴う1株当たり利益の希薄化や債務負担増への懸念が高まり、株価は再び下落基調となりました。

**運用チームの視点** 心臓病領域に強みを持ち、脳梗塞リスクを低減する医療デバイス「ウォッチマン」の海外展開などを期待している一方、不整脈治療薬における競争激化を踏まえ、保有ウェイトを引き下げました。



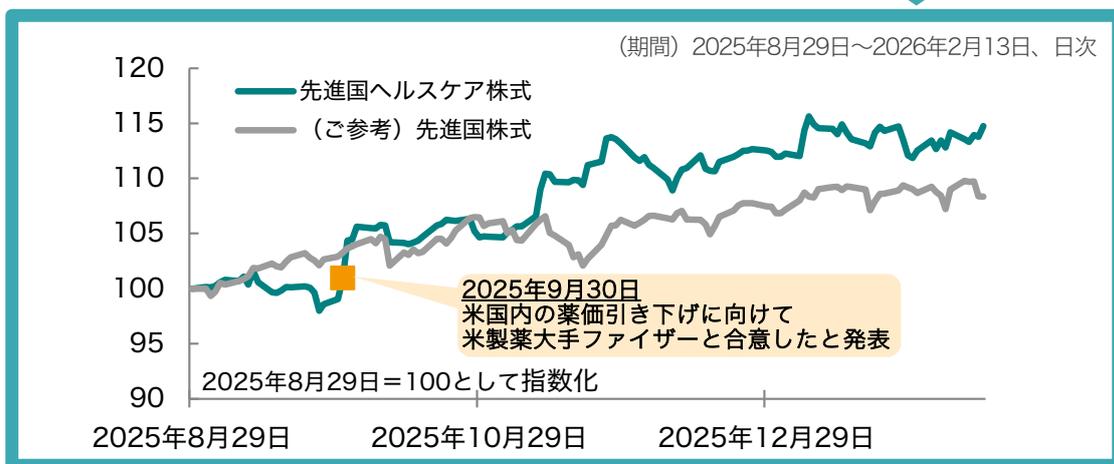
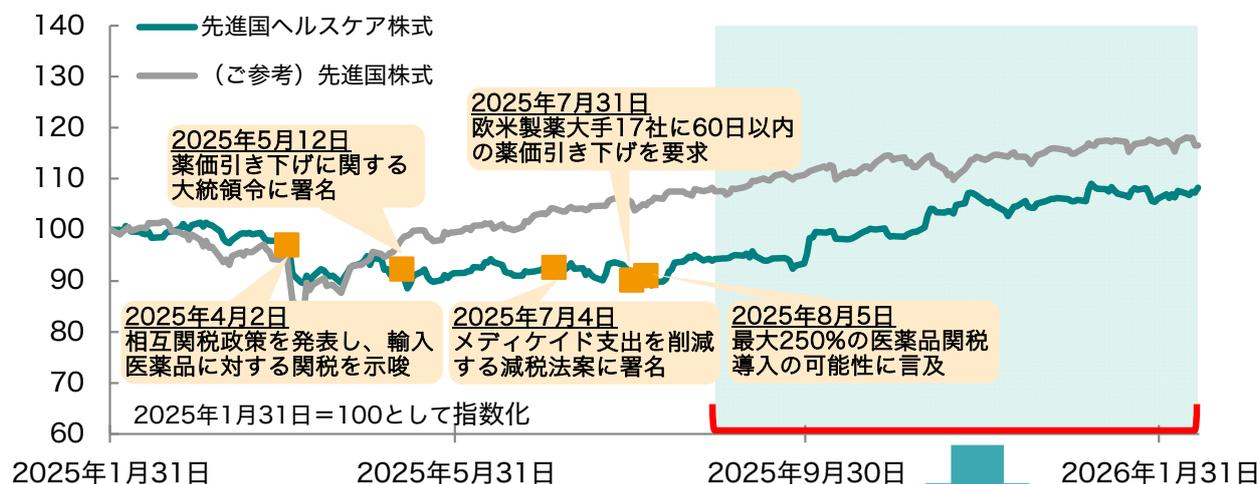
(出所)ウエリントン社のコメント、各種資料、Bloombergのデータを基に三菱UFJアセットマネジメント作成  
・グラフ期間：2025年8月27日～2026年1月30日。上記は全てを網羅するものではありません。また、個別銘柄の推奨を目的とするものではなく当ファンドにおいて上記銘柄を組み入れることを保証するものではありません。・上記は、過去の実績・状況または作成時点での見通し・分析であり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。

## 米トランプ政権の政策によるヘルスケア株式への影響

米トランプ政権は、2025年4月以降に輸入医薬品に対する関税と薬価引き下げの要求という大枠の方針を発表しました。その具体的な内容に注目が集まっていますが、2025年9月以降、欧米製薬大手は相次いで米トランプ政権と薬価引き下げに合意しました。薬価引き下げ自体はマイナスの側面が強いものの、医薬品関税の免除や価格低下による売上数の増加期待といったプラスの側面もあります。関税や薬価引き下げ等の政策の不確実性が解消に向かい、今後の先進国ヘルスケア株式の動向に関心が集まると考えられます。

## 先進国ヘルスケア株式・先進国株式のパフォーマンス推移と米トランプ政権の動向

(期間) 2025年1月31日～2026年2月13日、日次



(出所) Bloombergのデータを基に三菱UFJアセットマネジメント作成

・上記は、指数（現地通貨ベース、配当込み）を使用しています。指数は、先進国株式：MSCI ワールド インデックス、先進国ヘルスケア株式：MSCI ワールド ヘルスケア インデックスです。

・上記は、過去の実績・状況または作成時点での見通し・分析であり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。

## 米トランプ政権の薬価引き下げに関する動向

## 背景

2025年7月  
米トランプ政権は  
欧米製薬大手17社に  
薬価の引き下げを要求

## 結果

多くの会社が3年間の医薬品関税免除と引き換えに、薬価引き下げに合意

日付	企業名
2025年9月30日	ファイザー
2025年10月10日	アストラゼネカ
2025年11月6日	イーライ・リリー/ノボノルディスク
2025年12月19日	欧米製薬大手9社
2026年1月8日	ジョンソン&ジョンソン
2026年1月12日	アッヴィ

(出所) 各種資料を基に三菱UFJアセットマネジメント作成

## イーライ・リリーの取り組み

2026年1月末時点における当ファンドの組入銘柄比率第1位は、イーライ・リリーです。当ファンドでは、肥満症治療薬市場の拡大を踏まえ、同社を高く評価しています。同社は特定の医薬品へ依存せず、社内開発を軸とした心血管・代謝領域の事業基盤を広く築く方針を取っています。注射用の肥満症治療薬では、二種類の受容体に作用する二重作動薬という考え方に基づく開発を進め、高い効果と持続性を示してきました。同社の優位性は創薬面にとどまらず、需要が急拡大する局面で重要となる製造能力の増強と供給体制の整備、ならびに販売面での実行力にもあります。

経口の肥満症治療薬（GLP-1受容体作動薬）は、注射への抵抗感がある患者や、より早期の段階で治療を始めたい患者の取り込みを通じて、市場拡大の次の段階を担う可能性があります。同社のオルフォグリブロンは、有望な結果が示されており、投与の扱いやすさなど実用面での利点が期待されます。

## 肥満症治療薬の今後の見通し

肥満症治療薬市場は、構造的に成長が期待される分野とみています。背景には、これまで十分に満たされてこなかった医療ニーズの大きさ、治療導入率の低さ、肥満症患者数の増加、そして肥満症が慢性疾患として広く認識されつつある点があります。さらに、薬による体重減少が心血管系および代謝異常の改善につながることを示す臨床研究が積み上がっており、治療の選択肢としての位置づけは強まりつつあると考えています。

今後の市場拡大は、従来の肥満症患者層への治療普及に加え、治療対象となる疾患が周辺領域に拡大していくことや患者数の増加によって後押しされると考えています。

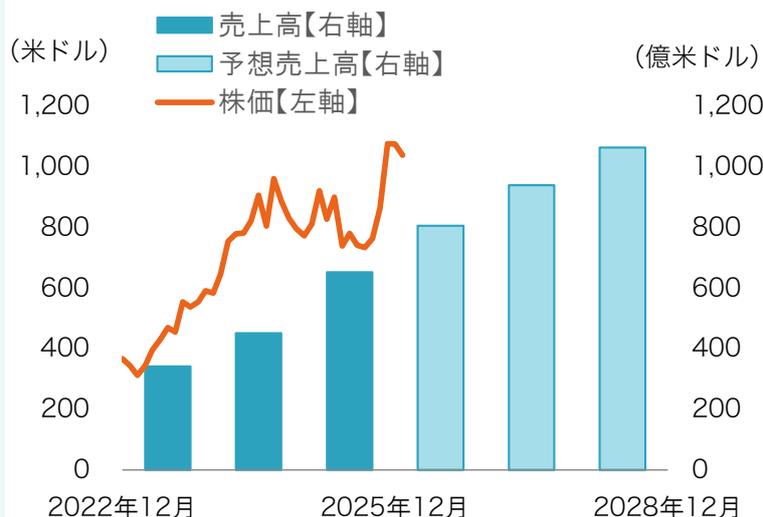
競争環境については、注射薬・経口薬を含め、複数の候補薬が開発段階に進んでいます。競争が進む中で差別化の軸は、単純な体重減少率だけではなく、効果の持続性、安全性や副作用の少なさ、使いやすさ、実臨床成績、製造能力、保険利用による負担額を含む受け入れやすさへと移っています。市場全体の成長だけではなく、臨床試験の結果、競合薬の動向、保険制度や負担のあり方の変化に対して、注目しています。

・上記は、当ファンドの実質的な運用を行うウエルントンの運用チームの見解です。

・上記は当ファンドの理解を深めていただくため、組入銘柄の一部を紹介したものです。したがって、個別銘柄の推奨を目的とするものではなく、当ファンドにおいて上記銘柄を組み入れることを保証するものではありません。

・上記は、過去の実績・状況または作成時点での見通し・分析であり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。

## イーライ・リリーの株価と売上高



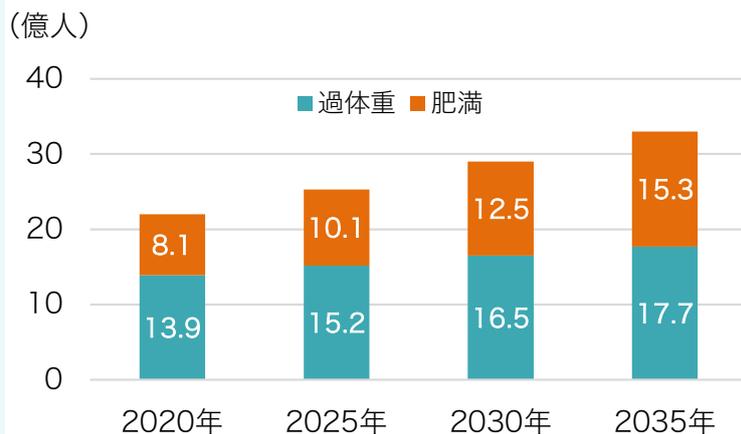
(出所) Bloombergのデータを基に三菱UFJアセットマネジメント作成

(期間) 【株価】2022年12月～2026年1月、月次

【売上高】2023年～2028年、年次

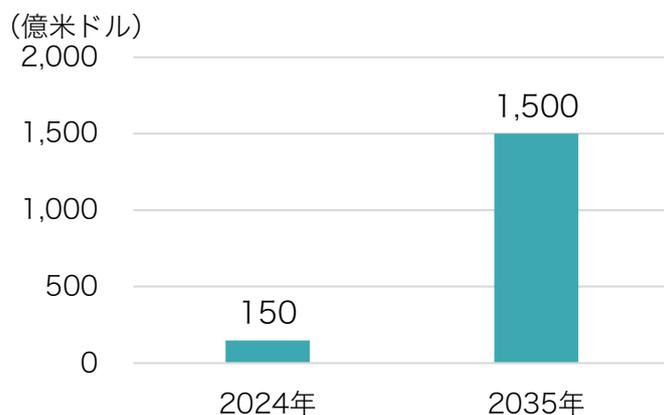
・予想売上高は2026年2月13日時点のBloomberg予想値です。

## 世界の過体重・肥満症の人口（20歳以上）



(出所) Statistaのデータを基に三菱UFJアセットマネジメント作成  
・2024年時点のデータです。2025年以降は予測値です。

## 世界の肥満症治療の市場規模（予測値）



(出所) Statistaのデータを基に三菱UFJアセットマネジメント作成  
・2025年5月時点のデータです。2035年は予測値です。

# グローバル・ヘルスケア&バイオ・ファンド(為替ヘッジあり) (愛称:健次(ヘッジあり))

追加型投信/内外/株式

## ファンドの目的・特色

### ■ファンドの目的

信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。

### ■ファンドの特色

**特色1 世界主要先進国市場のヘルスケア・バイオ関連企業の株式を主要投資対象とします。**

- ・世界主要先進国市場の中から、製薬、バイオテクノロジー、医療製品、医療・健康サービス関連企業等の株式に分散投資を行います。
- ・株式の組入比率は、原則として現金比率をできるだけ抑え、高位を維持します。

**特色2 財務・収益状況(ファンダメンタルズ)の健全な企業へ長期的な割安度を重視して投資(バリュー投資)を行います。**

- ・新商品の開発、企業の合併・統合、政策変更等を背景としたヘルスケア・バイオ市場の変化によってもたらされる投資機会に着目します。
- ・銘柄選定は、ヘルスケア・バイオ関連企業の財務データや業績見通しといった株価を動かす基本的な要因を重視した分析(ファンダメンタルズ分析)に基づいて行います。
- ・企業の事業見通し、新商品の見込み、企業戦略、競争性等に重点を置いたボトムアップ・アプローチ\*を行います。
- \*【ボトムアップ・アプローチ】 投資対象となる個別企業の調査、分析に裏付けられた投資判断をもとに銘柄選定を行い、その積み上げによりポートフォリオを構築していく方法です。

**特色3 原則として為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減をはかります。**

- ・外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行います。なお、米ドル建以外の資産については、当該資産の通貨と異なる通貨で為替ヘッジを行うことがあります。

**特色4 株式等の運用にあたっては、ウエルトン・マネージメント・カンパニー・エルエルピーに運用指図に関する権限を委託します。**

※運用の指図に関する権限の委託を受ける者、委託の内容、委託の有無等については、変更する場合があります。

**特色5 年2回決算を行い、収益の分配を行います。**

- ・毎年2月27日および8月27日(休業日の場合は翌営業日)に決算を行い、収益分配方針に基づいて分配を行います。

収益分配方針

- ・分配対象額の範囲は、経費控除後の配当等収益と売買益(評価益を含みます。)等の全額とします。
- ・委託会社が基準価額水準・市況動向等を勘案して、分配金額を決定します。
- (ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わない場合もあります。)

将来の収益分配金の支払いおよびその金額について保証するものではなく、委託会社の判断により、分配を行わない場合もあります。

原則として、決算日の基準価額水準が当初元本額10,000円(10,000口当たり)を超えている場合には、当該超えている部分について、分配対象額の範囲内で、全額分配を行います。(資金動向や市況動向等により変更する場合があります。)

### ■ファンドのしくみ

- ・ファミリーファンド方式により運用を行います。
- <当ファンドが主要投資対象とするマザーファンド>
- グローバル・ヘルスケア&バイオ・オープン マザーファンド

市況動向および資金動向等により、上記のような運用が行えない場合があります。

**ご購入の際には、必ず投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。**

## グローバル・ヘルスケア&バイオ・ファンド(為替ヘッジあり) (愛称:健次(ヘッジあり))

追加型投信/内外/株式

### 投資リスク

#### ■基準価額の変動要因

ファンドの基準価額は、組み入れている有価証券等の価格変動による影響を受けますが、これらの運用により信託財産に生じた損益はすべて投資者のみなさまに帰属します。

したがって、投資者のみなさまの投資元本が保証されているものではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。

投資信託は預貯金と異なります。

ファンドの基準価額の変動要因として、主に以下のリスクがあります。

<b>株価変動 リスク</b>	株式の価格は、国内および国際的な政治・経済情勢、発行企業の業績、市場の需給関係等の影響を受け変動します。株式の価格が変動すれば当ファンドの基準価額の変動要因となります。
<b>為替変動 リスク</b>	当ファンドは、主に米ドル建の有価証券に投資していますので(ただし、これらに限定されるものではありません。)、為替変動リスクが生じます。これら外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減をはかりますが、設定や解約等の資金動向、為替ヘッジのタイミングおよび範囲、ならびに市況動向等の要因により、完全に為替変動リスクを排除することはできません。なお、米ドル建以外の資産については、当該資産の通貨と異なる通貨で為替ヘッジを行うことがあり、この場合には為替変動リスクが生じることがあります。 また、為替ヘッジを行うにあたり、ヘッジコストが発生する場合があります。円金利がヘッジ対象となる外貨建資産の通貨の金利より低い場合、円とヘッジ対象となる外貨建資産の通貨との金利差相当分のヘッジコストがかかることにご留意ください。ただし、為替市場の状況によっては、金利差相当分以上のヘッジコストとなる場合があります。

上記のリスクは主なリスクであり、これらに限定されるものではありません。

#### ■その他の留意点

- 投資信託(ファンド)の分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。なお、分配金の有無や金額は確定したものではありません。
- 分配金は、計算期間中に発生した収益(経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益)を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間における当ファンドの収益率を示すものではありません。
- 受益者の個別元本によっては、分配金の一部ないしすべてが、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり小さかった場合も同様です。
- 当ファンドのお取引に関しては、クーリングオフ(金融商品取引法第37条の6の規定)の適用はありません。
- 当ファンドは、大量の解約が発生し短期間で解約資金を手当てする必要が生じた場合や主たる取引市場において市場環境が急変した場合等に、一時的に組入資産の流動性が低下し、市場実勢から期待できる価格で取引できないリスク、取引量が限られてしまうリスクがあります。これにより、基準価額にマイナスの影響を及ぼす可能性や、換金の申込みの受け付けが中止となる可能性、換金代金のお支払が遅延する可能性があります。

**ご購入の際には、必ず投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。**

## グローバル・ヘルスケア&バイオ・ファンド(為替ヘッジあり) (愛称:健次(ヘッジあり))

追加型投信／内外／株式

### 手続・手数料等

#### ■お申込みメモ

購入単位	販売会社が定める単位／販売会社にご確認ください。
購入価額	購入申込受付日の翌営業日の基準価額 ※基準価額は1万口当たりで表示されます。基準価額は委託会社の照会先でご確認ください。
換金単位	販売会社が定める単位／販売会社にご確認ください。
換金価額	換金申込受付日の翌営業日の基準価額から信託財産留保額を差引いた価額
換金代金	原則として、換金申込受付日から起算して5営業日目から販売会社においてお支払いします。
申込不可日	次のいずれかに該当する日には、購入・換金はできません。 ・ニューヨーク証券取引所、ニューヨークの銀行の休業日 ※具体的な日付については、委託会社のホームページ(「ファンド関連情報」内の「お申込み不可日一覧」)をご覧ください。
申込締切時間	原則として、午後3時30分までに販売会社が受付けたものを当日の申込分とします。 なお、販売会社によっては異なる場合があります。
換金制限	当ファンドの資金管理を円滑に行うため、大口の換金のお申込みに制限を設ける場合があります。
購入・換金申込受付の中止及び取消し	金融商品取引所等における取引の停止、外国為替取引の停止、その他やむを得ない事情があるときは、購入・換金のお申込みの受付を中止すること、およびすでに受付けた購入・換金のお申込みの受付を取消すことがあります。 また、信託金の限度額に達しない場合でも、運用規模・運用効率等を勘案し、市況動向や資金流入の動向等に応じて、購入のお申込みの受付を中止することがあります。
信託期間	無期限(2016年11月25日設定)
繰上償還	受益権の口数が10億口を下回ることとなった場合等には、信託期間を繰上げて償還となることがあります。
決算日	毎年2・8月の27日(休業日の場合は翌営業日)
収益分配	年2回の決算時に分配を行います。 販売会社との契約によっては、収益分配金の再投資が可能です。
課税関係	課税上は、株式投資信託として取扱われます。個人受益者については、収益分配時の普通分配金ならびに換金時および償還時の譲渡益に対して課税されます。公募株式投資信託は税法上、一定の要件を満たした場合に「NISA(少額投資非課税制度)」の適用対象となります。ファンドは、NISAの「成長投資枠(特定非課税管理勘定)」の対象です。販売会社により取扱いが異なる場合があります。くわしくは、販売会社にご確認ください。NISAの概要等については、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。税法が改正された場合等には、変更となることがあります。

**ご購入の際には、必ず投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。**

## グローバル・ヘルスケア&バイオ・ファンド(為替ヘッジあり) (愛称:健次(ヘッジあり))

追加型投信/内外/株式

### 手続・手数料等

#### ■ファンドの費用

##### お客さまが直接的に負担する費用

購入時手数料 購入価額に対して、**上限3.30%(税抜 3.00%)**(販売会社が定めます)  
(購入される販売会社により異なります。くわしくは、販売会社にご確認ください。)

信託財産留保額 換金申込受付日の翌営業日の基準価額に**0.3%**をかけた額

##### お客さまが信託財産で間接的に負担する費用

運用管理費用  
(信託報酬) 日々の純資産総額に対して、**年率2.420%(税抜 年率2.200%)**をかけた額

その他の費用・  
手数料 監査法人に支払われる当ファンドの監査費用・有価証券等の売買時に取引した証券会社等に支払われる手数料・有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用・その他信託事務の処理にかかる諸費用等についても当ファンドが負担します。  
※上記の費用・手数料については、売買条件等により異なるため、あらかじめ金額または上限額等を記載することはできません。

※運用管理費用(信託報酬)および監査費用は、日々計上され、当ファンドの基準価額に反映されます。毎決算時または償還時に当ファンドから支払われます。

※上記の費用(手数料等)については、保有金額または保有期間等により異なるため、あらかじめ合計額等を記載することはできません。なお、当ファンドが負担する費用(手数料等)の支払い実績は、交付運用報告書に開示されていますのでご参照ください。

### 本資料のご利用にあたっての注意事項等

●本資料は、三菱UFJアセットマネジメントが作成した資料です。投資信託をご購入の場合は、販売会社よりお渡しする最新の投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。●本資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。●本資料は信頼できると判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性等を保証するものではありません。●本資料中のグラフ・数値等は、過去の実績・状況であり、将来の市場環境等や運用成果等を示唆・保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。●投資信託は、預金等や保険契約とは異なり、預金保険機構、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。銀行等の登録金融機関でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の補償の対象ではありません。●投資信託は、販売会社がお申込みの取扱いを行い委託会社が運用を行います。

#### ●委託会社(ファンドの運用の指図等)

三菱UFJアセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第404号

加入協会:一般社団法人 投資信託協会

一般社団法人 日本投資顧問業協会

<ホームページアドレス> <https://www.am.mufg.jp/>

<お客さま専用フリーダイヤル> 0120-151034

(受付時間 営業日の9:00~17:00)

#### ●受託会社(ファンドの財産の保管・管理等)

株式会社りそな銀行

**ご購入の際には、必ず投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。**

## 販売会社情報一覧表

投資信託説明書(交付目論見書)のご請求は下記の販売会社まで

ファンド名称: グローバル・ヘルスケア&バイオ・ファンド(為替ヘッジあり)

商号	登録番号等		日本証券業協会	一般社団法人 日本投資顧問業協会	一般社団法人 金融先物取引業協会	一般社団法人 第二種金融商品取引業協会
株式会社イオン銀行(委託金融商品取引業者 マネックス証券株式会社)	登録金融機関	関東財務局長(登金)第633号	○			
株式会社SBI証券	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第44号	○		○	○
株式会社SBI新生銀行(委託金融商品取引業者 株式会社SBI証券)	登録金融機関	関東財務局長(登金)第10号	○		○	
株式会社SBI新生銀行(委託金融商品取引業者 マネックス証券株式会社)	登録金融機関	関東財務局長(登金)第10号	○		○	
株式会社関西みらい銀行	登録金融機関	近畿財務局長(登金)第7号	○		○	
株式会社埼玉りそな銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第593号	○		○	
七十七証券株式会社	金融商品取引業者	東北財務局長(金商)第37号	○			
株式会社常陽銀行(委託金融商品取引業者 めぶき証券株式会社)	登録金融機関	関東財務局長(登金)第45号	○		○	
東海東京証券株式会社	金融商品取引業者	東海財務局長(金商)第140号	○	○	○	○
西村証券株式会社	金融商品取引業者	近畿財務局長(金商)第26号	○			
PayPay銀行株式会社	登録金融機関	関東財務局長(登金)第624号	○		○	
松井証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第164号	○		○	
マネックス証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第165号	○	○	○	○
株式会社三菱UFJ銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第5号	○		○	○
株式会社三菱UFJ銀行(委託金融商品取引業者 三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社)	登録金融機関	関東財務局長(登金)第5号	○		○	○
三菱UFJ eスマート証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第61号	○	○	○	○
三菱UFJ信託銀行株式会社	登録金融機関	関東財務局長(登金)第33号	○	○	○	
三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第2336号	○	○	○	○
水戸証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第181号	○	○		
めぶき証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第1771号	○			
楽天証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第195号	○	○	○	○
株式会社りそな銀行	登録金融機関	近畿財務局長(登金)第3号	○	○	○	

・商号欄に\*の表示がある場合は取次販売会社です。・商号欄に(※)の表示がある場合は新規申込のお取扱いを中止しております。